

平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年6月9日記入

基本目標	Ⅲ ▼ 躍動し 魅力あふれる交流拠点都市をめざして	施策コード	31120
政策名 (章)	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします	評価担当課	経済部 ▼
基本施策名 (節名)	第1節 活力ある産業の振興		産業振興課
施策名	新たな成長産業の創造	課長名	三沢 賢一

1 施策の概要・目的

新たな成長産業を創造するために、起業家の発掘や創業支援を行い、業種を越えた連携や産学の連携を促進する。

2 施策の現状

ベンチャー企業の創業支援や新分野進出を目指す中小企業への支援、産学連携に関する研修会の実施、青年起業家支援のためのビジネスプランコンテストを実施するなど、インキュベーションセンターである「さがみはら産業創造センター」を中心に技術力と創造力を生かした産業の振興を図っている。

3 総事業費及び人員

(1) 施策に要している総事業費

109,034 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

(2) 市民1人当りの事業費

177 円/人……人口は、61.6 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

(3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 80 番目です。

(4) 施策に要している人員

2.29 人……構成事務事業全体の人員合計

4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値			目標
			現状	目標	達成度	目標年度
指標1	インキュベーションセンター入居率 (創業支援を行う さがみはら産業創造センターにおける企業の入居率)	企業の創業や新分野進出への支援の効果を入居率で推し量る	82 % 単位	0 50 100	82%	目標年度 H18
			100 % 単位			達成度
指標2			単位	0 50 100		目標年度
			単位			達成度
指標3			単位	0 50 100		目標年度
			単位			達成度 %

5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

起業家支援のみでなく、事業の多角化を図ろうとする中小企業への支援を実施することは、近年の経済を取り巻く環境変化に応じたものである。また、企業の新分野進出を支援するために、最先端技術を紹介するセミナーの実施や、産業界での今後の活躍が期待される青年を対象に人材育成を行うことは、地域産業の活性化を長期的視野にたって実現していくものである。

6 有効性…期待される効果があがっているか

さがみはら産業創造センターでは新製品開発に必要な資金調達のための支援や、入居企業と地域の中小企業によるネットワークを形成したことによる地域生産ネットワーク事業が開始されることになった。また市内大学とも産学連携に係る協定を結んでおり、商品デザイン等に美術大学の特性を生かした商品開発がされるなどの成果も上がっている。

7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

さがみはら産業創造センターが実施している産業振興事業と同様の事業を市で行うことは困難で、市で行う場合にはより多くの経費を要するものと思われる。また、セミナーの実施やビジネスプランコンテスト等の取り組みは起業家や新分野進出への裾野を広げる啓蒙的な要素もあり、将来に向けての投資的意味合いもある。

8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

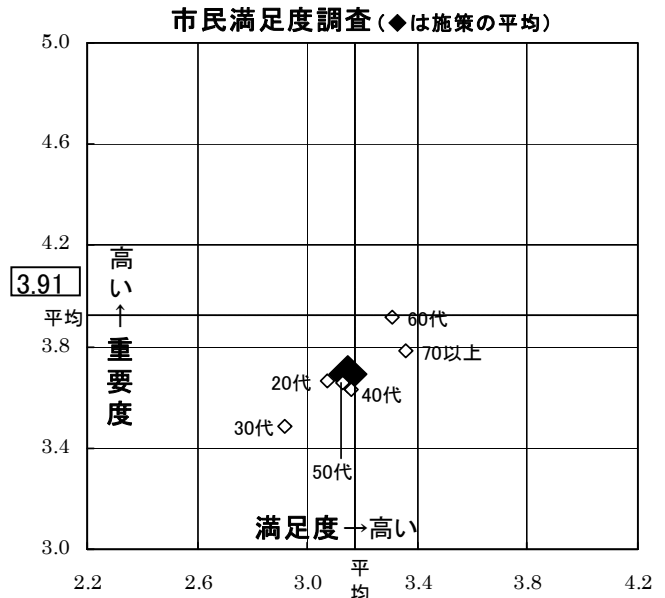
◆この施策の満足度は、3.149で、調査した51施策の中で26番目です。

◆この施策の重要度は、3.689で、調査した51施策の中で39番目です。

◆この施策の改善要望度は、0.382で、調査した51施策の中で34番目です。

◇年齢別にみると、満足度及び重要度ともに60歳代以上で高く、30歳代で最も低くなっています。満足度が高いほど重要度も高くなる傾向がみられます。

市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)

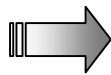


9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

創業支援はその成果がすぐ利益となって戻ってくることは難しいため民間での取り組みは少なく、公的な支援は今後とも必要になる。また、産学連携に関しては、企業と大学・研究機関とのマッチングを可能にするために、市内企業の得意とする分野・技術及び共同開発や助言を期待している事項などのデータ集積を行っていくことが必要である。

10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充する
<input type="checkbox"/> 現状維持する
<input type="checkbox"/> 見直し



説明及び具体的内容

景気の低迷を打破し産業の活性化を促す為に、国を筆頭に創業支援策を拡充している現状であり、全国的にも先進的な事例となっている「さがみはら産業創造センター」を支援することで、新たな産業の創造を促すこととする。
また、今後は、高度な研究開発を求める産学連携に加え、企業シーズの的確な組み合わせにより新たな事業展開を可能にする産学連携を推進することも必要となる。

11 2次評価

説明

<input checked="" type="checkbox"/> A
<input type="checkbox"/> B
<input type="checkbox"/> C

市内産業の活性化と本市の将来の経済的発展のため、施策内容を充実すること。

12 外部意見

説明

青山学院大学の本市への移転など産学公連携の基盤が整いつつある中で、こうした社会的な資源を有効に結び付けるなど新たな産業の創造に向けた基盤整備を積極的に行っていく必要がある。

施策名 新たな成長産業の創造

施策コード 31120

構成事務事業一覧

事務事業名	担当課	評価年度	決算額(千円)	人員(人)	評価の概要								施策中の優先順位	
					総合評価	達成度	必要性	効率性	代替性	満足度	有効性	公平性		今後の進め方
青少年創造意欲啓発事業	産業振興課	15	939	2.00	AA	A	A	A			B	A	廃止	4
さがみはら産業創造センター補助金	産業振興課	15	91,939	0.05	AAA	A	A	A			A	A	見直し	1
青年起業家育成事業	産業振興課	15	7,150	0.16	A	B	A	B			A	A	継続	3
産学連携支援事業	産業振興課	15	9,006	0.08	A	B	A	A			A	B	継続	2

合計 4 事務事業 109,034 千円 2.29 人 平成14年度評価: 達成度、必要性、効率性、有効性、代替性、満足度
 平成15年度評価: 達成度、必要性、効率性、有効性、公平性